

家庭菜園相談室

今月の
テーマ

上手に防虫して葉も実も楽しもう！ ～カラシナ&タカナ～



カラシナには葉や茎を利用する葉カラシと、実をカラシにする黄カラシがあります。葉カラシは漬け菜に、黄カラシの実をすりつぶすとチューブの和からしやホットドッグにかけると粒マスタードになります。カラシナの葉はカロテン、ビタミンCなどを豊富に含み、栄養価が高いです。カラシナの仲間であるタカナは、カラシナよりも大振りの漬け菜です。カラシナと同じように栽培できます。

図1 作型目安

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
カラシナ	●	●							
タカナ	▲		▲						
		★	★						
		■					■	■	■
								●	●

● 種まき ▲ 防虫ネット ★ 追肥・中耕・土寄せ ■ 収穫 ● 開花・結実(カラシナ)

栽培のポイント

- アブラムシがつきやすい野菜ですが、アブラムシ除けには、シルバーマルチまたはシルバーの線が入ったマルチを敷くと良いです。シルバーマルチなどを敷いていない場合は、草丈が小さいうちは防虫ネットのトンネル掛けで防虫します。
- カラシナの旬はトウ立ちする前の2月～3月初旬までで、この頃が最も辛みが増しておいしくなります。

畑の準備	種まきの2週間前に苦土石灰100g/m ² と堆肥1kg/m ² を施し、深さ30cm位までよく耕します。 1週間前には化成肥料(畑作名人N:P:K=13:13:13) 100g/m ² を施しよく耕します。 畝幅60～70cm、高さ10～15cm程に畝を立てます。シルバーマルチを敷くことをおすすめします。
種まき	畝の表面を平らにならし、支柱や木板を土に押し付け、深さ1cm、条間20cmのまき筋をつけます。種が重ならないように2～3cm間隔で1粒ずつまき、種をまき終わったら、種が見えない程度に土をかけ、軽く鎮圧してから優しく水をかけます。 マルチを敷いた場合は、条間20cm、株間10cmに穴を開け、1つの穴に6～7粒ずつまきます。 タカナは大株になるので、株間を30～40cmと広くします。
防虫ネット	種まき後、すぐに寒冷紗などの防虫ネットをトンネル掛けしてください。 出来るだけネットは開けないで、11月下旬まで掛けておきます。
水やり	畑の土が乾燥してきたら水やりをします。寒冷紗の上からかけても大丈夫です。
間引き	子葉展開時に1回目、本葉1～2枚のときに2回目、本葉3～4枚で3回目、本葉5～6枚で4回目の間引きを行います。本葉5～6枚で株間が10cm程度(タカナは30～40cm)になるように間引きます。※マルチを掛けた場合も同様です。
追肥・土寄せ	最終の間引きをした後、条間に化成肥料(N:P:K=8:8:8)を30g/m ² 程度施します。株の周りを軽くかき混ぜ株が倒れないように株元に土寄せします。また、収穫途中で生育が鈍くなったら追肥します。
病虫害防除	アブラムシ・コナガ・アオムシなどの害虫は、防虫ネットで概ね予防できます。
葉の収穫	カラシナは、草丈が20～30cm程になったら外葉からかき取って収穫します。蕾を摘み取って食べてもおいしいです。 タカナは、草丈30cmを超えたら外葉からかき取るか、根元から切り取り収穫します。春になって蕾が見え出したら抜き取りします。
カラシ種の収穫	茎をのびして菜の花が咲くと細長いサヤができます。梅雨頃になるとサヤが熟し種ができるので、サヤが茶色っぽくなったら収穫します。収穫したサヤは1～2週間乾燥させて、中の種を取り出します。種はさっと水洗いして天日で乾かしてから保存します。酢や水に浸してからすりつぶせば自家製マスタードの出来上がりです。 少し熟成させると味が落ち着きます。ただし、タカナの実は、カラシにはなりません。

その他、家庭菜園に関する相談は、JAの支店または営農経済センターまでご連絡ください。